

## 「いつか真心納税を」

蓮田市立黒浜中学校3年 植木 涼太

青空に日差しがまぶしい八月。薄緑や黄褐色の丸々した梨が市内のあちらこちらで目に留まる。ぼくの住む町は埼玉県でも有数の梨の産地で、その瑞々しさをたくさんの農家が披露してくれる果樹あふれる緑豊かな町だ。

そんなある日の事、家の食卓に傷だらけの梨が数個置いてあった。母に入手方法を聞くと馴染みの梨農家から頂いたとの事であった。話によると、六月初めに降雹と強い風による大きな被害があり、今年は収穫量が見込めないとの事で目の前の梨は選果から外れたかわいそうな梨なのだそうだ。

ぼくは農家の方が心配でこの降雹について調べてみた。この降雹等による埼玉県の農作物被害総額は三十八億円あまり。特別災害に指定され、県と対象の市や町(十八の市と町)にて支援を分担する事が決まった。被害(三十%以上)のあった特定農作物については農薬、肥料、代替作等の購入費用等が補助対象になる。ただ、被害状況がかなり大きかったようですべての被害を把握するには時間を要するとのことであった。

支援金はすぐに農家の方へ届くのだろうか。もしかしたら待っている間に被害にあった木々や農作物が病気になってしまうのではないか。もう少し早く別の方法で助けてあげられないのだろうか。その時、ふるさと納税でクラウドファンディングするのは…と、思いついた。ふるさと納税とは、生まれた故郷や応援したい自治体に寄付ができる制度だ。寄付金のうち二千元を超える部分については所得税の還付、住民税の控除が受けられる。自分自身が寄付金の使い道を決める事ができ、その地域のお礼の品や名産品を返礼品としてもらえたり、もしくは返礼品無しを選ぶことのできる仕組みになっている。

ぼくは早速、インターネットで埼玉県のふるさと納税サイトを調べてみた。

「あった！」

たくさんの農家がふるさと納税経由で寄付金を募集している。梨やぶどう、キウイフルーツ、野菜や建物そのものにも被害が出ている事がその画面から直に伝わってきた。そして、多くの農家は残念ながらこのような状況の為返礼品はありませんとサイトに書いてあった。返礼品を楽しみにしているふるさと納税者はたくさんいるはず。返礼品無しの寄付者は現れるのだろうかとぼくは心配した。そして被害にあわれた各クラウドファンディングに寄せられた寄付額を見て、ぼくは驚く事になる。

たくさんの真心がそこに表れていた。自分の故郷、応援したい土地を思い真心を届けられた方の人数が多くその気持ちが温かかった。ふるさと納税とは、ただ地域の返礼品を選び楽しむだけではない。例え自分に縁もゆかりもなくとも、誰かを思って思いを届ける事のできる「真心納税」と呼べるだろう。

この温かい真心は必ず誰かを笑顔にする。近い将来、この真心をぼくも必ず届けよう。